

木造家屋建築工事における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	17~ 18	弊社元請工事の洗面造作工事の作業を終え、社有車を運転して自社片付け場へ戻る際、交差点付近にて、くしゃみをした反動でハンドル操作を誤ってしまい、左前方の電信柱に激突し、胸や頸椎を打ちつけてしまった。その際、内装パネルが割れて右ひざに刺さったため、右ひざも負傷した。	21	1 ~ 9
2	12~13	営業活動にて車で移動中に居眠りをしてしまい、道路脇の崖に転落し、車が破損し、運転者は打撲を負った。	53	1 ~ 9
2	9~10	現場に向かう途中4号バイパスで右折しようとした時、矢印のない信号機で青信号で渡れず、青から黄に変わったところで発進したところ反対車線から10tトラックがよそ見運転で赤信号を無視して直進して追突した。	24	—
2	9~10	現場に向かう途中4号バイパスで右折しようとした時、矢印のない信号機で青信号で渡れず、青から黄に変わったところで発進したところ反対車線から10tトラックがよそ見運転で赤信号を無視して直進して追突した。	23	—
2	7~8	現場に向かう際、片側一車線の道路を通行中、100m位手前から対向車が左車線を通行し始め、気付いてよけようとしたが、間に合わず、正面衝突した。	42	10 ~ 29
5	12~ 13	客先へ向かって車で移動中、対向車線を走っていた加害者が右折しようとして正面から被害者の車にぶつかり、左胸と首を負傷した。	31	30 ~ 49
		事務所から工事現場へ向かうため、山間の道を運転していたところ、緩やかな右		

7	11~12	カーブで、左側の森から飛び出してきた野生動物を避けるために、必要以上に右にハンドルを切った。そのことにより、反対車線を越え、道路から8m程低くなっている谷へ落下した。車は横転することなく、180度向きを変えた状態で停止した。なお、同乗者はなく、運転者である被災労働者のみが搭乗していた。	23	~	30 49
7	10~11	休憩をとるため現場から道路を横断中に車にはねられて、けがをした。	23	~	1 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html